

2. 学事運営組織

2.1 学事運営組織と役割

学事運営の組織構成と各委員会等の役割を示します。

本学園のガバナンス・コード（学校法人金沢工業大学ガバナンス・コード）も参照ください。

https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/governance-code.pdf

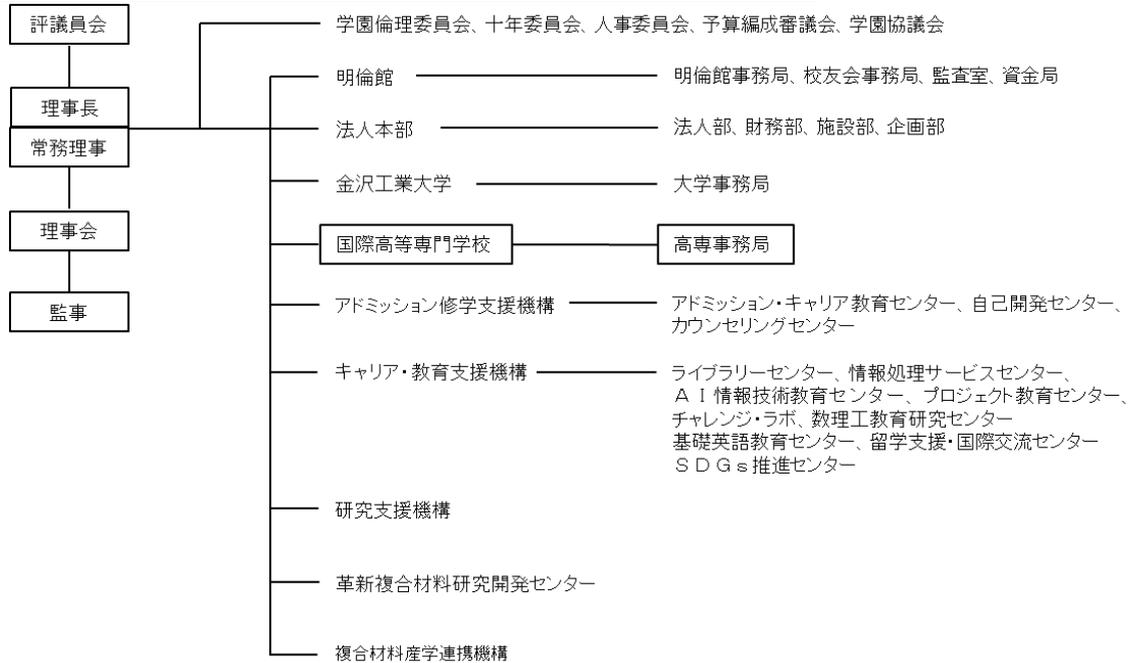


図 2-1 学園組織図

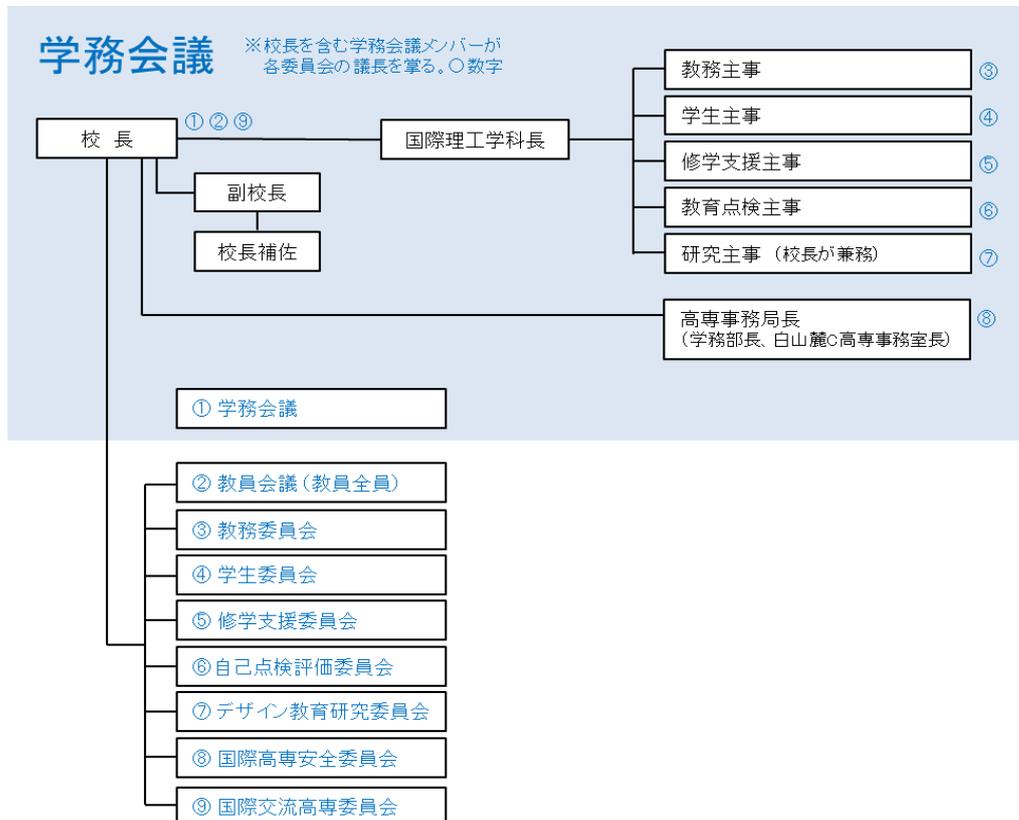


図 2-2 高専組織図

1. 学務会議

校長、副校長、校長補佐、国際理工学科長、教務主事、学生主事、修学支援主事、教育点検主事、研究主事、高専事務局長、学務部長、白山麓高専事務室長により構成され、校長が議長となり、教育研究の質的向上に関する事項、学則その他規則に関する事項、教育課程編成に関する事項、学籍に関する事項、厚生補導に関する事項など、学事全般について審議します。

2. 教務委員会

教務主事が議長となり、教務運営の方針及び教育実施状況の把握に関する事項について審議します。

3. 学生委員会

学生主事が議長となり、学生の厚生補導に関する事項について審議します。

4. 修学支援委員会

修学支援主事が議長となり、修学指導及び進路指導全般に関する事項について審議します。

5. 自己点検評価委員会

教育点検主事が議長となり、教育の実態把握、点検評価及び改善に関する事項について審議します。

6. ICT教育評価委員会

校長が委員長となり、自己点検評価委員会による評価に対するメタ評価を行い、その結果を十年委員会に報告します。

7. デザイン教育研究委員会

研究主事が委員長となり、エンジニアリングデザイン教育の実施方針、実施計画の立案及び実施状況の把握に関する事項について審議します。

8. 国際交流高専委員会

校長が委員長となり、教育・研究にかかる国際交流プログラムの企画・立案に関する事項について審議します。

2.2 教育支援・学習支援組織と機能

学生の学習や生活支援を行なう組織として、また、教育の充実に向けた支援組織として、各種の支援センターを設けています。各センターの学生支援活動は次のとおりです。

(1) 情報環境支援

情報処理サービスセンター（金沢キャンパス）



情報処理サービスセンターは、コンピュータ、ネットワーク等の IT による教育研究の支援及び IT 関連教育の推進を担っています。本校では、全学生にノートブック型パソコンを支給するなど、IT 教育の充実を図っています。

詳細は、<https://www.kanazawa-it.ac.jp/dpc/>で紹介しています。

(2) 資格取得支援

自己開発センター（金沢キャンパス）



自己開発センターは、資格取得による学生の総合的な能力向上の推進を担っており、各種の資格試験の情報提供をはじめ、資格取得のための講習会も多数開催しています。また、既に資格を取得した学生が、今から資格取得を目指す学生を教える、「学生と学生の学び合いの場」も運営しています。

詳細は、<https://www.kanazawa-it.ac.jp/shikaku/>で紹介しています。

(3) 学生生活支援

学生ステーション（金沢キャンパス）



学生ステーションは、学年・学科の異なる学生同士が、共通の話題で対話し、自由な活動を通じて自己成長を行う場です。平日は 21 時、土曜は 17 時までオープンしており、学生主体の交流イベント、講習会の実施を行なっています。

詳細は、<https://www.kanazawa-it.ac.jp/gstation/>で紹介しています。

(4) 課外活動支援

夢考房（金沢キャンパス）



学生が自由に「ものづくり」を楽しむ場を提供する夢考房は、平日は 21 時まで、土曜・休日は 17 時まで開館しており、ものづくりのための安全や装置機器の取扱講習会を実施すると共に学生プロジェクトである夢考房プロジェクトを支援しています。

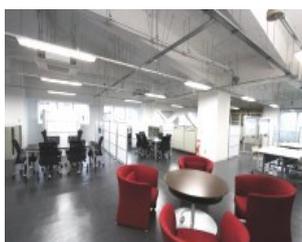
詳細は、<https://www.kanazawa-it.ac.jp/yumekobo/>で紹介しています。

Maker Studio（白山麓キャンパス（上）・金沢キャンパス（下））



Maker Studio は、学生や教職員の自主的な「ものづくり」を支援する設備群の総称であり、Workshop(工作機械室)、Workspace(ものづくりスペース)、Lecture room(レクチャールーム)、Project booth(プロジェクトブース)から構成される制作環境です。学生達が社会実装に向けたプロトタイプをすぐ作成できるよう、レーザーカッターをはじめとした機械や道具が備わっています。

アントレプレナーズラボ（金沢キャンパス）



アントレプレナーズラボは、学生が企業や地域住民とともにイノベーションに向けた「学び」「気づき」「行動」を実践する場として開設されました。学生が学外のさまざまなイノベーターと交流しながら、地域社会のリアルな課題に取り組み、自らイノベーターとして成長していく場として活用が期待されています。

アントレプレナーズラボの館内は <https://kitnet.jp/panorama/07/>でそれぞれ紹介しています。

(5) 授業・学習支援

数理工教育研究センター（金沢キャンパス）



数理工教育研究センターは、数学、理科および工学基礎分野の習熟度向上を狙いとして、「教材作成と学習開発の支援」「数理教育研究と調整」等の機能を有しています。特に、数学、理科科目の個別指導に注力することに加えて、Web 教材、習熟度別教材の作成、また、それを用いた課外に実施する理解度向上プログラム、電子メールによるネットチューター等の運営を行っています。

詳細は、<https://www.kanazawa-it.ac.jp/efc/>で紹介しています。

CDIO イノベーション&デザインスタジオ（金沢キャンパス）

CDIO イノベーション&デザインスタジオは、「グローバル人材の育成」と「イノベーション力の育成」をキーワードに、授業・授業外の予習復習・課外教育プログラムの充実に向けた新しい形の教室環境です。授業期間中は平日 21 時、土曜 17 時まで開館しており、アクティブラーニングや学生間のチームラーニングなどで活用できます。

詳細は、<https://www.kanazawa-it.ac.jp/gstation/index.html> で紹介しています。

Challenge Lab（金沢キャンパス）

Challenge Lab(チャレンジラボ)は、未来の新技术や新たな価値を創造する拠点として開設されました。急速に進展する時代の中、社会性のある研究課題に取り組み、専門分野の枠組みを超えて次代に応じた新しい技術や新しい価値を創出する実践の場です。ここに明るい未来を創るために必要な解決すべき課題に対して、専門分野を超えて学際的なチームをつくり、問題解決の実践とイノベーションに挑戦する「クラスター研究室」が活動しています。

詳細は、<https://www.kanazawa-it.ac.jp/challengelab/index.html> で紹介しています。

**自習室（金沢キャンパス）**

自習には、個人で自習する場合と、複数人もしくはチームで自習する形態があります。本校には個人利用の自習室に加えて、チームでも使用できる自習室として、いつでも課外学習に取り組めるよう、ゆとりの 220 席を有する 365 日 24 時間オープン of 自習室があります。

ライブラリーセンター（LC）（金沢キャンパス）

12 階建てのライブラリーセンター（LC）は、教室や実験室で得た知識をさらに深める場として開館した新しい概念の図書館で、「学習支援」「研究支援」「卒業生支援」「地域の情報センター」としての役割を担っています。利用時間は年間約 340 日、平日は 22 時まで、土曜・日曜は 17 時まで開館しており、学生同士の教えあいの場“Knowledge Square”や就職や授業と連携した文書添削指導の機能を有するライティングセンター、専門基礎学力の増進プログラムを運営する学習支援デスク、マルチメディア技術の修得を目的とした Digital Contents Factory、PMC、五十嵐威暢アーカイブなどを有しています。

詳細は、<https://www.kanazawa-it.ac.jp/kitlc/>で、

ライブラリーセンターの館内は <https://kitnet.jp/panorama/05/>でそれぞれ紹介しています。

Library Commons（左） / Living Commons（右）（白山麓キャンパス）

第 1 学年、第 2 学年の学生の学習・生活の中心的空间となっています。金沢キャンパスにあるライブラリーセンターのサテライト図書館としての機能はもちろんのこと、少人数教育、個人学習、グループ学習など様々な目的で使用しています。

Learning Commons (金沢キャンパス)



第4学年および第5学年の学生が、自習、グループ学習、発表準備、ディスカッションなど、さまざまな学習スタイルに対応できるよう設計されています。また、空き時間や放課後には、学生をはじめとする学生主体の活動の場としても活用でき、学生がより充実した時間を過ごせる環境が整えられています。

(6) 教育研究・研修施設

天池自然学苑



天池自然学苑は、本校金沢キャンパスから車でおよそ25分、本校白山麓キャンパスから車でおよそ1時間かかります。金沢市南東部の広大な丘陵地に位置し、体育館、サッカー場、ラグビー場、野球場、ゴルフ練習場などがあります。

池の平セミナーハウス



池の平セミナーハウスは、本校金沢キャンパスから車でおよそ3時間、本校白山麓キャンパスから車でおよそ4時間かかります。上信越高原国立公園の一部、新潟県の妙高高原にある収容人数60名の施設です。

KIT 国際交流会館



KIT 国際交流会館は、留学生と併設校である金沢工業大学および本校の学生が活発に交流する「文化を超えた共創教育」の拠点です。また、最大50名の留学生が滞在可能な住居エリアも備えています。留学生との交流を通じて、キャンパスにいながら、異文化への理解と日本文化への再認識を深め、グローバル社会で活躍するうえで欠かせない素養を身につけることを目指したプログラムを展開しています。

◆健康・体育施設は6章 6.3 健康・体育施設で紹介します。